



世界一危険な都市と呼ばれる南アフリカのヨハネスブルク。その近郊には、20世紀最大の負の遺産ともいわれる人種隔離政策、アパルトヘイトを象徴する黒人居住区「タウンシップ」がいくつも残されている。

中でも最も大きなタウンシップを、地元の住人らは“ソウェト”と呼んでいる。アパルトヘイトと戦い、民主主義を築いたネルソン・マンデラの努力によって大きく改善されたはずのこの地域には、今もブリキ小屋の家々が立ち並び、路地では羊の頭が食料として売られていた。現在でも国民の3分の1が貧困層で、トイレはもちろん、電気も水道もない家で暮らしているのは事実のようだ。

しかしアフリカの青い空の下、そこには妙にすがすがしい風が吹いていて、大人も子どももみんなが笑っていた。「ここは平和だよ」。そう語りかけるかのような笑顔に魅せられ、私は思わずシャッターを切った。幸せって何だろうか？



撮影：ごとうゆかり（愛知県／英語講師）

## あなたの作品募集中！

「my photo」では、あなたが撮影した写真を募集しています。貧困や環境問題などをテーマにした写真、国内外問わず国際協力の最前線で活動に励む日本人や開発途上国の人の姿、テレビや新聞ではなかなか報じられない土地の風景や人々の暮らしなど、国際協力や途上国を身近に感じられる写真を、撮影時のエピソードを添えてご応募ください。応募作品の中から毎号1枚、本コーナーで紹介させていただきます。

**応募条件** ①応募者本人が撮影した作品に限ります。②被写体に関する肖像権は、応募者の責任において了解が得られているものとします。③写真は、解像度が300万画素以上(目安)で撮影されていること、また画像の記録形式はJPEGを推奨します。

**応募方法** お名前、連絡先(電話番号とEメール)、エピソード(300～350字)、記名の可否をご記入の上、写真とともに応募先アドレスまでEメールでお送りください。

\*応募作品は本コーナーの他に、事前確認の上でJICAの広報活動に活用させていただく場合があります。ご記入いただいた個人情報はこちら以外の目的では使用いたしません。また、応募作品はご返却いたしませんので、あらかじめご了承ください。